

令和5年度

萩市消費生活モニター通信②



©萩市消費生活センター

萩市 消費生活センター

## 萩市消費生活モニター通信② 目次

高齢者が安心して生活できるために	1
プレミアム付商品券について	1
大量の薬を	2
「リフト付きタクシー専用利用券」について	3
詐欺に遭わないように	4
携帯電話会社の変更手続きをしたけれど・・・	5
消費生活センターに相談しましょう	6
スーパーのセルフレジに並んでいて・・・	6
食べ頃がわかりづらい食品について	7
フードロス対策のため少量のものを購入しています	8
「貯蓄から投資へ！」？	8

## 高齢者が安心して生活できるまちに

商店が閉店してしまったら、生活必需品を手に入れることができるでしょうか。週一回 JA やコープの移動販売車が来ていますが、遠くから押し車で来られ帰って行かれる方もいます。止まる場所を増やしてもらえないでしょうか。高齢者の方が少しでも安心して生活できるようになればと考えています。

(商工振興課)

買い物支援につきましては、萩市の各地域におきましても課題となっております。移動販売が、対策の一つではありますが、現状では、移動販売の事業者も、巡回地点を増やすことは難しいとの声も聞いているところですので、ご理解いただければと存じます。

市としても、移動販売事業者の状況も踏まえるとともに、買い物支援対策について、今後も検討してまいります。

## プレミアム付商品券について

10月に販売されたプレミアム付商品券について、とても有難く重宝いたしました。以前は何となくいつも利用する店舗で使用したのですが、このたびは使える店を事前によく確認することに。意外なお店や懐かしいお店などなど、新たな発見もあり、久しぶりに足を運ぶことができたり、日常での必要なことに利用したりと、本当に役立ちました。

萩で生まれ育ち暮らしているのに、知らないことが今も多くあります。

商店の現状もその一つです。たくさん工夫され、萩を盛り上げようと日々努力されていたり、昔から変わらぬこだわりを大切にしている様子に安心感を覚えました。消費者として少しでも力になれたのなら幸いです。

(商工振興課)

昨年度に引き続き、今年度も、萩市共通商品券組合が実施する、「プレミアム付商品券」の発行を支援することで、市民生活の支援と消費喚起による経済活動の活性化を図っております。今年度は、まだ実施中ではありますが、昨年度も、多くの方に、地元の店舗等をご利用いただいたところでした。

実際にご利用された感想をいただき、ありがとうございました。今後も、市内で頑張っておられる事業者の支援につながる施策を検討してまいります。



## 大量の薬を

血圧を下げる薬、逆流性食道炎の薬、脂質改善の薬 etc.

90歳になる父は毎日、朝、昼、夕、寝る前に多種多様の薬を飲んでいきます。飲み忘れや反対に飲み過ぎなどないようにはじめはお薬カレンダーに入れていたのですが、飲み忘れていたり指先のしびれなどでPTP包装シートからあの小さなお薬を出すのがままならなかったりする様子。

自分でやれると頑固に言う父を説き伏せて、ようやく個包装から出して1回分を小さなプラスチック容器に入れ、1週間分の薬ラックをセットしました。はじめて3ヶ月、先月また1錠増えましたが、ほぼ順調に服用しています。

これくらいなら、簡単にセットできると思っていたのは甘い考えで、一番多い朝は6個の似たような丸薬、1個間違えば大変、数が合わなければ数え直し、少々疲れてしまいます。

どうしたものかと調べてみたら、かかりつけ医でお薬の一包化を処方していただけるのですが、薬局での待ち時間が長かったり、料金がかかったりするそうです。診察の待ち時間と合わせると、半日では終わりません。どうしようか思案のしどころです。

お世話も大変ですが、ひとり暮らしの高齢の方は飲み間違えはないでしょうか？2種類以上の錠剤は基本的に一包化というのはいかがでしょう。

また、大量に飲み忘れても普段通りだったことを思えば、あんなに大量のお薬が必要なのでしょうか。



(地域医療推進課)

お薬を飲み間違えないようにするために、ご苦労なさっている様子が伝わってきました。

医師には、患者さんの症状を少しでも軽くしてあげたいという思いがあります。そのため、その都度お薬が増えてしまうことがあります。治ったことが医師に伝わらないと薬が減らないかもしれません。

ご尊父様の受診の際に同伴し、残っている薬を持って服薬の状況をかかりつけ医にお話になるのが良いと思います。同伴が難しければ、あなただけが来院しご相談なさっても良いでしょう。かかりつけ医にお気持ちを伝えてください。

「医師には相談しにくい」とおっしゃる方も多いです。その時は、「かかりつけ薬剤師・薬局」という制度がありますので、薬局に相談されるのが良いでしょう。お薬情報の一元管理や服薬指導、お宅への訪問、かかりつけ医など医療機関との連携、患者さんへの助言などを行っています。ご質問の「一包化」は、処方箋を持っていく薬局にお願いなされれば可能です。費用は、1割負担の方なら140円です。

## 「リフト付きタクシー専用利用券」について

母の介護にあたり介護保険によるサービス以外に、高齢者福祉サービスがいくつかあることを知りました。その中のサービスに、「リフト付きタクシー専用利用券」がありました。

母の通院時に利用できる大変有難いサービスです。

ただ、住まいと萩の病院までの距離が20kmくらいあるので、リフト付きタクシーを利用した場合、往復で約1万円かかります。利用券は、年間2万円なので通院に利用できるのは2回になります。

それでは、サービス利用料が一律なので病院に近い方との不平等を感じました。サービスに関わる市の予算の変更は難しいと思いますが、住まいと病院までの距離を考慮した専用利用券の交付を検討していただきたいと思います。

(高齢者支援課)

萩市におきましては、高齢者一人ひとりが住み慣れた地域、人と人とのつながりを通じ、いつまでも自分らしく、生きいきと暮らすことができるまちを目指しています。

この実現のためには、日常生活の支援や見守り活動、緊急時の対応など、高齢者の実情に応じたサービスを提供する必要があります。

日常生活の支援の取組の一つとして、原則、要介護3以上の方で一般のタクシーでの移動が困難な方に対して、医療機関等への通院時に利用するリフト付きタクシー利用券、1枚500円分の利用券を40枚(2万円分)を交付し、通院時に移動費用を支援しております。1回あたりの利用制限がないことから、市内の医療機関はもとより山口市や益田市の医療機関への通院にも利用されております。

しかし、ご自宅から医療機関までの距離が遠い場合等においては、数回の利用で上限に達することとなりますので、自宅と病院との距離を踏まえた制度の見直しについて、他市の事例を参考にしながら検討したいと考えております。



## 詐欺に遭わないように

詐欺に遭うのは、なぜなのだろうか。新聞を読んでいると毎日のようにこの問題が取り上げられている。

- ・孫や息子が事故や事件を起こした。だから示談金が大至急必要。(オレオレ詐欺)
- ・あなたの口座が犯罪に利用されている。だからすぐにキャッシュカードを交換しないと危ない。(預貯金詐欺)
- ・未払いの料金があるという架空の事実を口実にし、金銭を脅し取る。(架空料金請求詐欺)

など、手口も多岐にわたり巧妙になってきている。

以前、架空料金請求が私のスマホに入ってきたことがある。「その時がきたなあ～」と思い、すぐドコモに電話をし、どうしたらよいか聞き、事なきを得たことがある。

特に高齢になり、不安をあおられたりすると、普段どおりに行動できなくなりやすいので、家族に相談したり、専門の人に聞いて対応することが必要だと思います。一人で考えすぎないように、落ち着いて行動し、被害に遭わないようにしていこうと思います。

(消費生活センター)

詐欺に遭う年代は、高齢者だけでなく、あらゆる年代に被害が発生しています。12月には山口県内で「厚生労働省」等の実在する公共機関を騙り、個人情報聞き出そうとする不審電話を多数関知しています。また、パソコン操作中に偽のウイルス感染等の表示からサポート詐欺に遭う人は若い人にも多いようです。

また、スマホの普及に伴いSNSの利用者が増加する中、SNSが悪質商法の勧誘手口として悪用されるケースなどの相談件数が年々増加しています。10年前に比べ50代以上の相談が30倍以上と大きく増加し、若年層だけでなく中高年層でもトラブルが発生しています。(SNSの広告から定期購入トラブル、SNSで知り合った相手から副業などのもうけ話を誘われたり、国際ロマンス詐欺へ誘導など)

ご意見のとおり、不安なことがあれば、一人で考えすぎないように、ご家族や消費生活センターにすぐご相談ください。

※SNSの種類

LINE、インスタグラム、X(旧ツイッター)、ユーチューブ、メタ(旧フェイスブック)等



## 携帯電話会社の変更手続きをしたけれど…

携帯電話の料金を見直し、夫と私の2台分を格安SIMの会社に変更することにしました。大型電気店で契約ができるということで、前日に電話して「明日伺います」と伝えました。ところが、次の日店舗へ行くと、「即日発行できるSIMがないので、こちらを2台分購入してください」と、スターターキットを渡されました。返品はできないけど、これがあれば、自分でインターネットで契約できるそうで、どういう手順でやるのか聞くと、パッケージを見ながら、「～だと思えます」とか「～とここに書いてあるので…」と説明を受けました。何だか店員さんもよく分かっていない感じで、「本当にこれでできるの？」という印象でした。帰宅後、夫が手続きをしてみたのですが、先ほど購入したものをどのタイミングで使うかなど詳しい説明がなかったため、スターターキットを使用せず契約してしまい、1台分の3,300円が無駄になってしまいました。2台目は、失敗を踏まえて、上手く契約できました。せっかく前日に電話もして店舗まで行ったのに、スムーズに契約できないばかりか、無駄にお金を支払い、逆に損をしてしまいました。

今後は、商品に関して、しっかり理解されている店員さんを配置してもらるか、自社商品のことをもっと教育し、複数の店員さんが対応できるようなお店に改善してほしいです。お客様自身に契約手続きをしてもらうのならば、そういう人向けのわかりやすいパンフレットやマニュアルを置くという対応も必要だと思いました。

(消費生活センター)

格安SIMの会社は店舗(ショップ・家電量販店)とオンラインで申込みができます。ショップと家電量販店では、対応するサービスが違うようです。家電量販店では格安SIMの店員さんがいない可能性があり、「新規契約・他社回線からの乗り換え(MNP)・プラン変更」ができる反面、「機種変更・SIMカードの交換・再発行・料金の支払いや解約手続き」はできないようです。家電量販店ではSIMカードの交換・再発行ができないため、SIMスターターキットの購入を勧められたのではないかと推測されます。契約時「家電量販店でできること・できないこと」の説明があればよかったですね。

携帯電話の購入や乗換えの際には、「自分にあった料金プランの選び方」(総務省ポータルサイト)を参考にされることをお勧めします。料金プランの見直し、乗換えの基本と費用、乗換えのチェックポイント、格安スマホ・格安SIMについてなど、詳しい説明が掲載されています。



### ※SIM

加入者を特定するための契約者情報が記録されており、これを電話番号と結びつけることで通信/通話ができる。



## 消費生活センターに相談しましょう

4～5年前、家族がネットでコンサートのチケットを購入した際、詐欺被害に遭いました。「あと〇席しかありません。」のメッセージをクリックしてしまい、チケットの値段がかなり高額だったことで詐欺に遭ったと気付いたようでした。)気持ちが動転していましたが、“消費生活センター”に相談し、対応していただき、お金を引き落としされずに済みました。昨今は、ニュースでよく詐欺被害を耳にします。自分たちは無関係と思っていました。相談窓口があり対応していただけたこと、有難く感じました。今後もこの窓口機関は継続して続けてほしいと切に思います。消費生活センター、警察機関、地域（町内会等）と連携していただき、詐欺被害が減っていくことを願っています。



(消費生活センター)

ネットでコンサートチケットやライブなどのチケットを購入しようとしたところ、転売仲介サイトやSNSを利用してトラブルに遭うことがあります。

検索サイトを利用した際に、検索結果の上部に広告が表示されることがあります。これはリスティング広告と呼ばれ、検索ワードに関連して広告が表示される仕組みです。一番上に表示されたサイトがチケット転売仲介サイトの広告だと気づかず、公式の販売サイトと勘違いしたまま利用しているケースが見られます。また、転売仲介サイトでは「残り〇枚」や「残り時間〇分」という表示がされ、購入を急かされてしまうことがあります。

チケットの購入時は公式チケット販売サイトであることを確認し、キャンセルに関するルールなども十分に確認してから購入しましょう。

疑問に感じたり、不審に思われた際は、消費生活センターにご相談ください。

## スーパーのセルフレジに並んでいて…

市内のスーパーで設置され利用することが多くなったセルフレジも、いろいろと段階に分かれています。セミセルフレジに並んでいると、やはり高齢者の方が係員に説明を聞きながら操作をされて、少し時間がかかり、その列に並んでいる人が冷ややかな目で見たり、陰でブツブツ話をしていました。セルフレジは空いているのにと思いました。使い方の説明を高齢者にわかりやすくできるといいと思うのですが。

(消費生活センター)

日本社会のデジタル化が急速に進んでいます。インターネットの活用が高齢者の間で



進む一方、高齢者を含む一部の消費者に、インターネット等の情報通信技術の恩恵を受けられないことで生じるデジタルバイドや、デジタル技術に関する知識やデジタル機器・サービスを利用する能力といったデジタルリテラシーの不足の問題が発生しています。

市内でもセルフレジの導入があちらこちらで見られるようになりました。すべての利用者が「慣れる」までは時間がかかるかもしれません。誰もが気持ちよく利用できるようになるには、お互いの助け合いも必要と思われま



### 食べ頃がわかりづらい食品について

先日、西洋梨「ラ・フランス」をごちそうになりました。和梨とは違って果肉がかなり柔らかく、とても甘くて、おいしくいただきました。

それまでずっと「ラ・フランス」は、ジュースやソースのための食材だと思っていました。というのも、何年か前に物珍しさから購入してみたことがあったのですが、今思えば、まだ「食べ頃」ではなかったみたいで、「かたくて味の薄い果物」でした。今回のことがなければ、今後購入することはなかったと思います。メロン・マンゴー・アボガド等々、食べ頃が分かりづらいものはつつい購入を敬遠してしまいがちです。購入してからも、何回も触ってみたり、においを嗅いでみたりで、ストレスが溜まってしまいます。

保存状態によってひとえには言えないと思いますが、「食べ頃の日時または状態」がわかるように表示してもらえるととても助かるのですが…。



(消費生活センター)

同じように思われて買物をされる方が他にいるかもしれません。お店の担当者に「食べ頃の日時、または状態がわかるように表示をしてもらえないか?」とご希望を伝えられてはどうでしょうか?お店にとってもメリットになるのではないのでしょうか?

## フードロス対策のため少量のものを購入しています

スーパーに行って商品をじっくり見るようになりました。今までは自分の必要なものしか見ていなかったように思います。

じっくり商品を見て回るようになって気付いたことがあります。

野菜などを中心に少量のものが販売されています。葉物類は以前から見てはいましたが、キノコ類、もやしも半分の量で販売されているのを見つけました。

以前は、もやしやエリンギなど通常の量のものを購入していましたが、料理のレパートリーも少なく、すぐには消費できず冷蔵庫の中でしんなりしていることもあり、ギリギリで使い切っていました。

最近は少し割高になってしまいましたが（半分の金額のものもあります）、使い切れる点ではフードロス対策に繋がればと思い少量のものを購入しています。

## 「貯蓄から投資へ！」？

昨年から物価がどんどん上がり、年金ぐらしの私たち団塊の世代はどうやって乗り切ろうかと悩んでいる。

最近、政府が「NISA」なるものを推進している。貯蓄の利子は0に近いので、投資とかいうものに関心を持ち始めた矢先の政策。

今から少し勉強してみようかと思っていたところ、素人は投資などしても損をする確率はひたすら100%に近いとの識者の声。

やはり庶民はお金でお金を生み出す方法などこの世に無いことを自覚して、地道に賢く生きることを再確認しているこの頃です。



令和5年度萩市消費生活モニター

大橋 真佐子 (椿東)  
松浦 美代子 (椿東)  
中村 礼子 (三見)  
松浦 宇佐子 (大井)  
横山 朱美 (川上)  
杉山 恵子 (江崎)  
高橋 邦江 (吉部下)  
岩本 裕子 (弥富下)  
西岡田 かおり (佐々並)  
吉村 玲子 (紫福)

# 萩市消費生活センター

## 0838-25-0999

訪問販売、架空請求、クーリング・オフなどの契約・  
解約に関する問題や、多重債務、商品の安全性・品質  
など消費生活全般の相談に応じます。

一人で悩まないで、お気軽にご相談ください。

